



# 三重県の文化財保護

—昭和57年度—

1983.3



三重県教育委員会

## 例 言

1. 本書は、三重県教育委員会が昭和57年度に実施した指定文化財等の保護事業を中心にまとめたものである。
2. 国史跡齋宮跡及び埋蔵文化財の保護事業については、それぞれ年報を刊行しているので参照されたい。
3. 資料のうち、1. 文化財愛護強調週間行事、2. 文化財防火デー行事については、市町村教育委員会からの報告をまとめたものであり、3. 文化財防災調査、4. 近世大名墓所調査については該当する市町村教育委員会の協力を得て実施した調査をまとめたものである。

## 目 次

I. 文化財の緊急調査	IV. 国指定文化財の保護
1. 歴史の道調査……………1	1. 保存修理……………7
2. 方言収集緊急調査……………2	2. 指定文化財管理……………8
3. カモシカ緊急調査……………2	3. 防災施設等……………8
	4. 保存施設……………8
II. 文化財の指定	5. 無形文化財等の伝承……………8
1. 国新指定の文化財……………3	6. 史跡の公有化……………8
2. 県新指定の文化財……………3	V. 県指定文化財の保護
3. 県指定解除の文化財……………3	1. 保存修理……………10
4. 各市町村新指定文化財……………3	2. 保存施設……………10
	3. 無形民俗文化財の伝承……………10
III. 文化財パトロール事業……………5	VI. 文化財愛護地域活動
	1. 文化財愛護推進方策研究……………11
	2. 弥生時代の住居復元と活用……………13

## 資 料

1. 文化財愛護強調週間行事……………22
2. 文化財防火デー行事……………23
3. 文化財(国・県彫刻)防災調査報告……………31
4. 近世大名墓所調査報告……………35
5. 県新指定文化財調査報告……………36

# I 文化財の緊急調査 ※印は、国庫補助事業

## 1. 歴史の道調査—大和街道・伊勢別街道・伊賀街道—※

ここ数年来の道路改良事業、各種農業基盤整備等によって失なわれつつある古道をはじめ交通関係の遺跡等を、「歴史の道」として古道及び関連遺跡を周囲の環境を含めて総合的かつ体系的に把握・調査するもので、昭和55年度から5か年計画で進め、昭和57年度で三年めを終了した。

本年度は、昭和57年度歴史の道（大和街道・伊勢別街道・伊賀街道）調査実施要項にもとづいて三街道の現状調査を行った。調査の結果は、個々の道標・常夜燈・街道沿線の各種文化財については調査票と写真カードを作成し、街道全体については、伊勢側から大和側方向に、伊勢別街道については東海道から分岐する参宮の道のため伊勢方向へ記述し、報告書としてまとめた。街道の現地調査と現状記述は、市町村毎に次の各調査員に分担していただいた。なお、調査結果は「歴史の道調査報告書Ⅲ」としてまとめている。

### （調査指導）

樋田 清砂	県文化財保護審議会委員	（総括指導）
平松 令三	"	（文化財）
藤本 利治	皇学館大学教授	（歴史地理）
久保 文武	奈良大学講師	（文献指導）

### （関係市町村教育委員会）

津 市教育委員会
上野市 "
久居市 "
関 町 "
芸濃町 "
伊賀町 "

### （調査担当）

岡田 集平	亀山市立亀山中学校長	（関）
中川 甫	伊賀町役場総務課職員	（伊賀）
森川 桜男	上野市文化財専門委員	（上野）
菊岡 繁雄	島ヶ原村史編さん委員長	（島ヶ原）
横井 文英	芸濃町文化財調査委員	（芸濃）
高士 洋幸	津市立新町小学校教諭	（津）
竹西 宗夫	津市立西ヶ丘小学校教諭	（津）
田中喜久雄	美里村立長野小学校	（美里）
北川 乾一	大山田村文化財調査委員	（大山田）
井上 庸子	高田高等学校教諭	（津）
増田 善作	久居市文化財調査委員	（久居）

### （関係教育事務所）

中勢教育事務所
上野教育事務所

## 2. 方言収集緊急調査—第2年次—※

近年、生活文化の画一化・標準化が急激に進み、日常使用する言語も例外でなく、古い生活文化の姿を残す貴重な方言も急速に失なわれつつある。このため、各地に残る貴重な方言を緊急に調査し収集記録して後世に保存するため、昭和56年度から3か年計画で進め、昭和57年度で二年めを終了した。

(記録収集地区)

- ・安芸郡美里村北長野(伊勢地区) ・阿山郡阿山町馬田(伊賀地区) ・志摩郡阿児町立神(志摩地区)
- ・北牟婁郡海山町白浦(北牟婁地区) ・南牟婁郡御浜町阿田和(南牟婁地区)

(記録内容)

- ・目上の者と目下の者の対話 ・老年層の女性2名の対話、又は老年層の女性3名の会話

(調査方法)

- ・10時間分録音、そのうち3時間分を文字化、標準語と対比、方言特性の考察、記録作成

(調査員)

- (伊 勢) 丹保 健一 三重大学教育学部助教授 馬杉 宗伸 県立城山養護学校教諭
- (伊 賀) 巖佐 正三 三重大学名誉教授 森田 貞子
- (志 摩) 尾崎亥之生 磯部中学校教諭 浦谷 広己 阿児町教育委員会社会教育指導員
- (北牟婁) 中野 朝生 尾鷲教育事務所指導主事 東 成志 県立稲葉養護学校教諭
- (南牟婁) 福田 学 新宮高等学校教諭 吉井 準 熊野工業高等専門学校助教授

(関係市町村教育委員会)

美里村、阿山町、阿児町、海山町、御浜町の各教育委員会

(関係教育事務所)

中勢、上野、南勢志摩、尾鷲、熊野の各教育事務所

## 3. カモシカ緊急調査※

カモシカは「生きている化石」といわれる原始的な動物で、昭和30年に特別天然記念物に指定され、昭和39年に県民獣にもなっているが、近年になって人工造林地の幼齢木に対するカモシカの食害が増加し社会的な問題となっている。天然記念物カモシカの保護と食害防止の両立をはかるため、環境庁、林野庁、文化庁の三庁合意にもとづく保護地域の設定や食害防止対策の徹底など各種の施策が検討されている。

昭和57年度は、昭和56年度に実施した生息分布密度調査にもとづき、三重県農林水産部林業事務局及び三重県森林組合連合会等の協力を得て次の調査を実施した。

カモシカ食害防除効果測定調査

実施 個 所	対策 仕 様
多気郡宮川村古ヶ谷地内	防護柵の総延長 1,062m
飯南郡飯高町木樨地内	〃 725m
北牟婁郡海山町便の山相賀地内	〃 2,850m

## II 文化財の指定

### 1. 国新指定の文化財

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者・伝承者・管理者	答申年月日
考古	伊勢神島祭祀遺物	98	奈平 良安	鳥羽市神島町中ノ山1	八代神社	昭58.4.1

### 2. 県新指定の文化財

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者・伝承者・管理者	指定年月日
民無	一之瀬獅子神楽			度会郡度会町 南中村、脇出、和井野 市場	南中村、脇出 和井野、市場 獅子神楽保存会	昭58.?.28

### 3. 県指定解除の文化財

種別	名称	指定年月日	所在地	所有者	解除年月日
史跡	浄蓮寺趾	昭16.6.11	桑名市有吉台	桑名市・他	昭58.3.28

### 4. 市町村新指定の文化財

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者・伝承者・管理者	指定年月日
----	----	----	----	-----	-------------	-------

#### 鈴鹿市

有建	蓮花寺鐘楼 (旧神戸城太鼓櫓)	1	江戸後	鈴鹿市東玉垣994	蓮花寺	昭57.7.27
有絵	勢州稲生村三社絵図	1	室町	" 稲生町9275	伊奈富神社	"

#### 員弁町

記	史	北金井城跡		員弁町北金井字亀谷	種村敬章・他	昭58.2.14
	天	榎ノ木	1	" 畑新田175	位田徳郎	"
	史	岡1号古墳		" 東亀一色字岡山2035	和波久敬	"

種別	名称	員数	時代	所在地	所有者・伝承者・管理者	指定年月日
----	----	----	----	-----	-------------	-------

明和町

有	彫	木造聖観音立像	1	平安	明和町養川甲179円歌寺	養川自治会西区	昭56.8.10
	"	木造胎蔵界大日如来坐像	1	平安	" " 乙235常明寺	" 東区	"
	"	大造阿弥陀如来立像	1	鎌倉後	" 行部282	納願寺	昭56.9.28
	建	転輪寺表門	1	江戸	" 明星1745	転輪寺	昭56.10.27
	"	" 庫裡	1	江戸初	" "	"	"
	彫	六地藏石幢	1	室町後	" 齋宮笛川2317	齋宮中町区自治会	"
	"	木造阿弥陀如来立像	1	鎌倉	" 新茶屋95	西谷寺	"
	工	仏通禪師所用法衣並びに什物	7	鎌倉後	" 上野652	安養寺	"
	"	銅鐘	1	江戸	" 明星1745	転輪寺	"
	書	神事頭番帳	1	室町	" 大淀乙1	竹大与杉神社	"
	"	八木戸庄屋文書	1,450	江戸	" 八木戸288	小竹伊郎	"
	彫	木造僧形坐像	1	江戸初	" 行部282	納願寺	昭58.1.25
	"	木造阿弥陀如来立像	1	鎌倉	" 馬之上105	円明寺	"
	"	木造獅子頭	1	室町	" 南藤原615	久安寺	"
記	史	鳥墓神痔跡			" 養村字鳥墓834	養村区	"
	"	惇子内親王墓			" 有尔中字瓮シ	中瀬佐平	"

島ヶ原村

有	工	六斎念仏供養四角形石灯	1		島ヶ原村1349	観菩提寺	昭57.7.8
	"	" "	1		" "	"	"
	"	阿弥陀石仏	1		" 4251	西念寺	"
	"	本尊厨子 <small>ます</small> 鎌子	1組		" 1349	観菩提寺	"
	彫	賓頭盧尊者寄木造半迦坐像	1		" "	"	"
	"	金剛力士像	2		" "	"	"
	"	木造十一面観音立像	1		" "	"	"
	"	木造梵天、帝釈天	2	平安前	" "	"	"
	"	薬師沢六地藏磨崖仏	1		" 4010	増本栄次	"

大山田村

有	書	中馬野の寛永山論文書	5		大山田村中馬野	中馬野区有	昭56.9.4
---	---	------------	---	--	---------	-------	---------

### Ⅲ 文化財パトロール事業

#### 事業の概要

三重県下の指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地を巡視し、常時、文化財の管理・保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財の保護の万全を期することを目的として各教育事務所毎に文化財調査員を任命し調査活動を行っている。

三重県における文化財パトロール事業は昭和48年度県単事業としてスタート、その後国庫補助の対象となり継続されてきているが、この間に国史跡向山古墳が土取中にパトロールによりその姿をとどめることができたり、また県天然記念物ハマナツメ植物群落も護岸工事中にその絶滅をくいとめることができた。

本年度は、特に建造物、天然記念物の巡視・保護管理指導にもチェックポイントカードを作成し、調査の徹底をはかった。特に天然記念物については多数の現状報告がなされた。

#### 巡視報告(天然記念物、名勝)

名 称	所在地	点 検 結 果	名 称	所在地	点 検 結 果
桑名の大イブキ	桑名市	枝の枯損あり 木の囲りに柵の要望あり	不動院ムカデラン群落	松阪市	一ツ葉しだの増加が問題
美鹿の神明スギ	多度町	特になし	九鬼崎樹叢	尾鷲市	特になし
御池沼沢植物群落	四日市市	帰化植物の侵入がかなりみられる	佐波留島	尾鷲市	特になし
西阿倉川アイナシ自生地	四日市市	雑木が茂っていて下枝の育ちが悪い	九木神社樹叢	尾鷲市	特になし
東阿倉川イヌナシ自生地	四日市市	2世木8本生育良好	法念寺のテツギョ	尾鷲市	幼魚誕生、良好
長太の大クス	鈴鹿市	特になし	飛鳥神社樹叢	尾鷲市	特になし
アイナシ	鈴鹿市	つる植物の撤去要	大島樹叢	紀伊長島町	土砂崩れあり、防止設備をクスノキ科のナタオレ発見
石薬師の浦ザクラ	鈴鹿市	3本の太い枝が枯れている	長島神社樹叢	紀伊長島町	特になし
西の城戸のヒイラギ	鈴鹿市	幹の中のくさり、先枝の枯れあり多数	東長島風蘭自生地	紀伊長島町	特になし
御蔵の松	鈴鹿市	枝の枯れ、全体のおとろえ目立つ、マツタイムシの恐れあり	市木のイブキ	御浜町	良好
白子の不断桜	鈴鹿市	特になし	引作のクスノキ	御浜町	良好
金生水植物群落	鈴鹿市	全域の保護管理を急ぐべきである帰化植物、雑木、等	神内神社社叢	紀宝町	良好
川俣神社のスタジイ	鈴鹿市	特になし	法泉寺庭園	多気町	排水溝の土つまり

#### 上記調査担当者

地区	氏 名	所 属
北勢	桐生 定巳	四日市市常盤中学校教諭
中勢	曾野 実	津市高茶屋小学校教諭
松阪	三井 博之	飯南町剛見中学校教諭
	河合 明	県立松阪工業高等学校教諭
尾鷲	伊藤 良	尾鷲市・団体役員
	湊 章治	県立長島高等学校教諭
熊野	嶋 正央	熊野市文化財調査委員
	牧野 弘	熊野市井戸小学校教頭
	田中 安弘	熊野市遊木小学校教諭

重要文化財(建造物)巡視ポイント  
県指定文化財

項目	点検内容	結果	名称	異常発見箇所等
基礎	石積の弛緩、破損	有無		
	亀腹の亀裂、破損	有無		
	礎石の不等沈下	有無		
	礎石の亀裂	有無		
	その他			
床下	丸太など木材放置	有無		
	瓦等の通風遮へい物	有無		
	野良犬等の跡	有無		
	その他			
縁廻り	床板の腐朽	有無		
	床上の不要重量物	有無		
	その他			
外壁	土壁の汚損、亀裂	有無		
	土壁のはく離、脱落	有無		
	板壁のひび割れ、破損、腐朽	有無		
	その他			
屋根	雨どいのつまり、ゆがみ	有無		
	雨どいの破損、脱落	有無		
	瓦の破損、脱落	有無		
	屋根上の落葉、泥土等	有無		
その他				
虫害	蟻害、虫害	有無		

(裏面)

項目	点検内容	結果	名称	異常発見箇所等
建物周辺の排水	雨落溝の砂利のつまり	有無		
	排水溝の泥等のつまり	有無		
	集水溝のゴミや土砂	有無		
	その他			
日照、通風	樹木の不用な繁りすぎた枝	有無		
	そばの邪魔な下枝	有無		
	背の高い雑草	有無		
その他				
防災施設	貯水槽、池の汚濁、ゴミや土砂	有無		
	消防車進入道路の確保	有無		
	各種注意板(禁土足、防火…)	有無		
その他				
図示				

天然記念物巡視ポイント

所在地	市	町	村	指定	国	県	名称
点検項目		点検結果		備考			
標柱							
説明板							
境界標							
独立樹	樹皮の被害	有無					
	枝の枯損	有無					
	病虫害	有無					
	病名						
	害虫名						
	雑草・雑木	有無					
	汚水の流入	有無					
	風当り	強 中 弱					
陽当り	陽 中陰 陰						
土湿	乾 適湿 過湿						
植物群落	土地開発の影響	有無					
	生育	良 普通 不良					
	病虫害	有無					
	病名						
害虫名							

(裏面)

点検項目	点検結果	備考	
植物群落	雑草・雑木	有 無	
	汚水の流入	有 無	
	排ガスの影響	有 無	
	土砂の流入	有 無	
	盗株	有 無	
岩石・地質	現況	良 普通 不良	
	土地開発の影響	有 無	
	盗掘	有 無	
図示			



## IV 国指定文化財の保護 国庫補助・県費補助事業

### 1. 保存修理

#### (1) 有形文化財（建造物）専修寺如来堂（津市 専修寺）〈調査工事〉

真宗高田派本山専修寺如来堂は、軒先の不陸、屋根全面のいたみ、縁板の腐れ等が目立ってきているため、前年度から数年計画で保存修理に入っている。本年度は、前年度に続いて保存修理工事に先立つ各部の破損状況等の調査を継続し、建物全体をおおう規模の鉄骨造りの素屋根の設計、小屋裏調査、各部材に対する重量等の構造解析及び材料強度試験、補強に関する構造調査等を行った。

#### (2) 有形文化財（彫刻）木造千手観音坐像（二見町 大江寺）

二見町大江寺の木造千手観音坐像は、本軀、化仏、脇手等に虫蝕、ゆりみ、欠損等がみられるため、虫蝕部は殺虫を行い樹脂充填し、各矧目は全て解体し漆で緊結、各腕取付位置の改造等の補足修理をはじめ光背、台座等の修理、補強、古色仕上げを実施した。

#### (3) 有形文化財（彫刻）木造如来坐像（大山田村 新大仏寺）

大山田村新大仏寺の木造如来坐像は肉身部全体にわたる漆下地の剥離、ゆりみ等がみられたため、前年度と2年計画で保存修理を始め、本年度は肉身部の漆下地の剥離部を除去して樹脂加工し、全体に黒漆を施し金箔を押しした。顔面は彩色し、全体の調和をはかるため古色仕上げを行った。

#### (4) 有形文化財（書籍）本居宣長稿本類並関係資料（松阪市 鈴屋遺跡保存会）

本居宣長自筆稿本類は破損、欠損、虫蝕等がひどく、このため前年度より4か年計画で保存修理に着手し、本年度は、関係資料111種のうち古事記伝等の44点の虫蝕修理を行い、虫穴の繕い、縦じ糸取替、帙新調、畳紙新調等を行った。

#### (5) 史跡 上野城跡（上野市）

上野城跡の石垣を含む城郭景観はその歴史的重要性を示す貴重なものであるが、石垣構築後約400年を経て、随所にはらみ、波打ちが生じて崩壊の危険もあるので、昭和55年度から4か年計画で築城当時の正しい姿に復する工事を進め、本年度は、前年度に引き続いて旧筒井城石垣を560㎡に亘って石積解体と積み替え工事を行った。

#### (6) 史跡 正法寺山荘跡（関町）

昭和52年以来山荘跡の建築遺構の確認調査をすすめ、発掘調査の進捗状況に合わせて整備事業を実施、発掘調査は山荘跡最東部約900㎡を行い、山荘跡中央部から東へ張り出す土壇と共に、石敷通路、方形石敷遺構等を検出した。また、環境整備については、山荘跡中央部の南側から東にかけ幅2m長さ120mの外周路の建設、中央北側の土壇の復元、鈴鹿山系の自然環境と調和した植栽を施した。

(7) 天然記念物 **御池沼沢植物群落**（四日市市）

四日市市の御池沼沢植物群落は、地域開発による自然環境の変化などから天然記念物を保護する必要があり、52年度から6か年計画で保存整備工事が続けられ、本年度は、西部指定地の管理施設の修正的な工事が主で、囲さく工事、管理観察橋工事を始め、文化財活用の面から標示板、案内板、説明板等の新設工事を行った。また合せて調査及び環境整備事業の報告書をまとめた。

(8) 名勝及び史跡 **北畠氏館跡庭園**（美杉村 北畠神社）

美杉村の北畠氏館跡庭園の保存と景観保全のため、園池前面にあって庭園の観賞を阻害している手水舎を撤去、園池中央部の橋を渡って外部へ抜ける通路になってしまっている所の遮断と外部隣接の建物を隠すため高生垣を植栽した。また、山からの土砂と会所栢の破損のための不陸をしがらみ工により修正、園池全域の在来樹の剪定整姿も行った。

## 2. 指定文化財管理

(1) 有形文化財（建造物）**大村神社宝殿付棟札**（青山町 大村神社）

青山町大村神社宝殿は、屋根の腐食が著しい部分があり、このため腐食部分の松皮を解体し、野地等の補強をして松皮葺で仕上げ、保存をはかった。

## 3. 防災施設

(1) 有形文化財（建造物）**専修寺御影堂**（津市 専修寺）

真宗高田派本山専修寺は、国宝二件を始めとする多数の重要文化財を有しながら、火災等に対する設備が不十分なため、本年度より7か年計画で重要文化財御影堂を中心とした防災施設の建設に入り、本年度は、消火栓設備関係として404㎡の貯水槽、ポンプ室、消防用採水槽の施設を造った。

(2) 有形文化財（建造物）**金剛証寺本堂付厨子**（伊勢市 金剛証寺）

伊勢市の金剛証寺本堂は、重要文化財（建造物）に対する防災が不備なため、本年度から2か年計画で消火栓設備等の防災施設を建設することになり、本年度は延500mに亘る配管工事を行った。

## 4. 保存施設

(1) 有形文化財（彫刻）**木造薬師如来坐像**（二見町 明星寺）

二見町明星寺の木造薬師如来坐像は平安時代のめずらしい在銘仏で、これを保存管理するため、高床式鉄筋コンクリート造りの日本瓦葺き平屋建て収蔵庫を建設した。

## 5. 無形文化財等の伝承

### (1) 無形文化財 伊勢型紙（鈴鹿市）

鈴鹿の伊勢型紙の技術保持者による指導のもとに中堅技術者を対象とし伝承者の養成及び資料の収集に努めるもので、重要無形文化財技術保持者を中心に伝承者養成委員会を組織、種目（道具彫、突彫、錐彫、縞彫、糸入れ）ごとに復刻作品の製作を行い、それぞれ専門講師の指導を受けた。

### (2) 無形民俗文化財 安乗の人形芝居（阿児町）

安乗の人形芝居は400年の伝統を持ち、毎年旧暦8月14、15日に公開されている。しかし伝承者の高齢化と舞台の老朽化のため、昭和56年度から3か年計画で計画的な伝承者養成と舞台修復が進められ、伝承者養成では延25日間に亘る講座と2日間の公開活動、また公開のための舞台の修理を行った。

## 6. 史跡の公有化

### (1) 宝塚古墳（松阪市）

松阪市土地開発公社が先行取得した追加指定地11156.4㎡を5か年計画で公有化する。本年度は第4年次である。

## V 県指定文化財の保護 県費補助事業

### 1. 保存修理

#### (1) 有形文化財（彫刻）木造薬師如来坐像（海山町 安楽寺）

海山町安楽寺の木造薬師如来坐像は、平安後期の作であるが、本体の各矧目の緩み、欠損、両手や左袖口等の江戸期の後補で形状不適合、漆箔の風化浮上や剥落等がみられたので、ガス燻蒸と各矧目の解体修復、欠損部の補足修理、不適合の修正、虫害の樹脂充填補修、漆箔の剥離止め古色仕上げ等をした。

#### (2) 有形民俗文化財 越賀舞台（志摩町）

志摩町の越賀舞台は、志摩地方に残る数少ない舞台であるが、白蟻による被害が甚しく、このままでは修理不能まで進む恐れがあるため、全体をガスによって燻蒸、更に食害の甚しい部分に吹付処理、穿孔処理を施し、又土壌処理も行って蟻害防除を行った。

#### (3) 史跡 名張藤堂家邸址（名張市丸ノ内）

名張市の名張藤堂家邸址は、北側屋根の交錯する部分が落ち込み、雨漏がして室内にも雨水が流れて腐食が進行しているため、屋根の腐食部分を除去し、瓦の葺き替え、雨樋を設置して雨漏を止める等の保存修理をした。

### 2. 保存施設

#### (1) 史跡 久保古墳（松阪市）

松阪市の久保古墳保存のため、説明板2基、方向案内柱1基、史跡標柱1基、境界柱17か所を設置し、周知の徹底をはかるとともに、保全につとめる。

### 3. 無形民俗文化財の伝承

#### (1) 無形民俗文化財 山神獅子舞（玉城町）

玉城町山神獅子舞の衣裳は麻製であるが、長年の使用のため損傷がひどく新調が必要となったため、衣裳2揃えを新調した。

#### (2) 無形民俗文化財 植木神社祇園祭（大山田村）

大山田村植木神社祇園祭の衣裳、楼車等は、多年に亘る使用のために破損は甚しく、修理や新調が必要のため、前年度に引き続いて本年度は、楼車扉端瓦修理、油障子張替骨修理、天幕、胴幕等の修理、渡御用衣装一式新調、輿の修理を行った。

#### (3) 無形民俗文化財 勝手神社神事踊（伊賀町）

伊賀町勝手神社神事踊の祭具等は、長年の使用で破損等も著しく、特に太鼓類については使用不能のものもあり、このため太鼓張替え2、修理1、縮直し7等の修理を行った。

#### (4) 有形民俗文化財 大入道山車（四日市市）

大入道山車の保存施設は、昭和26年建設のためスレート葺きの屋根の破損がひどく、大入道山車に直接雨漏りがするので、スレート瓦屋根部分の解体撤去と下地の取替と補強、銅板ぶきによる屋根替えを実施した。

## VI 文化財愛護地域活動

### 文化財愛護活動推進方策研究 榊原を守る会

急激な社会変化の中で、それぞれの地域社会に所在する文化財を保護し、伝承していく地域住民の活動を助長し、豊かな地域社会の形成と文化の向上に資することを目的として、前年度の「松阪もめんの伝統技術に関する学習」に続いて、本年度は“郷土の文化遺産の保護と啓発”というテーマで三重県教育委員会が文化庁より委嘱を受け、榊原を守る会が中心となって実践展開した。

#### 〈郷土の文化遺産と保護と啓発〉

##### ●実践研究の目的

榊原は古代より湯治場として知られ、中世には榊原氏を生み出した土地であり、また伊賀からの3つの古道が交わる所に位置し文化交流の場であった。そこで、ひとつひとつ古跡名勝を調査すると共に地元住民に広く知ってもらい郷土再認識をすすめ、地域の文化遺産の保護と啓発につとめる。

##### ●研究実践の展開

事業名	実施期日	事業内容
(1)温泉写真展	5月～6月	昭和初期の湯治場の名残りから観光としての温泉に至るまでの写真26面、江戸時代の湯治場の図面2点、復興当時のパンフレットと絵ハガキ等を地元の所有者の協力を得て展示した。
(2)郷土の探索会	6月20日	天文3年開基の地藏寺からスタート、長光寺跡、上村村社跡、砂田の塚跡、専性寺を探索し、村社の遺構や敷石などを新たに確認できた。
(3)美しい川運動	7月4日	郷土の文化を産み育ててきた川の汚れが目立つので、生活、観光、農業、郷土共に好ましくないで、きれいな郷土をとり戻そうと“美しい川”運動を提言し、地域子ども会の参加を得て清掃作業を進めるとともに「美しい川モデル地区」の立札10本を立てた。
(4)郷土の講演会	7月11日	「郷土の鎮主さま」と題して神社に関する講演会を開き、神社がどういう形でおかれ、天皇と伊勢神宮の結びつき、神仏分離などを知った。
(5)郷土の文化財を指定	10月3日	県・市指定以外のもの郷土にとって大切なものを掲げ、守る会として指定した。
(6)地元文化祭に参加	10月31日	地元文化祭の会場に郷土の民俗資料、化石、戦前期の写真等を展示した。
(7)総会と特別講演会		第3回定期総会を開き、活動報告等に続いて、三河に移った榊原氏の直系の榊原俊行氏から「徳川家康と榊原氏」の特別講演と25年前のカラーライドと現在のものとを併せて「ライドで見る榊原」を公開した。

事業名	実施期日	事業内容
(8)久能山東照宮見学ツアー	1月30日	三河の榊原氏が家康に仕え、家康の死後も東照宮の神官をし永代仕えるため久能山の山麓に照久寺をつくった榊原康政の兄清政の墓、その子東照宮初代の神官照久からの墓石の並ぶ照久寺、家康の墓所等を見、当地出身の榊原氏の大役ぶりを目のあたりに見た。
(9)郷土の講演会と「御湯」の復活	2月11日	50数年間絶えていた湯立神事「御湯」復活を提案、神社、氏子、子ども会の協力のもとに射手神社で復活することができた。また同神社境内で「郷土の仏像」の講演会を開き、仏像探索の課題を学習した。

### ●研究の成果

各事業の成果の主なものは次のようであった。

(1)温泉写真展	展示を通じて古老たちに当時の温泉のことを聞くことができた。
(2)郷土の探索会	上村村社跡は、地元自治会で草刈りなどされ、史跡として大切に残すよう自治会長から申出があった。
(3)美しい川運動	子どもたちの反響が強く、今後も続けられる。
(4)文化財指定	表示が身近な文化遺産見おしに役立ち、散策コース設定を望む声も出てきた。
(5)スライド会	25年の変化がみられ、今では見られない草ぶきの屋根や古道をみることができた。
(6)湯立神事	60才以上の老人しか知らない神事を復活し、大変意義があった。
(7)郷土の昔ばなし	5年間に亘って採取した80近い話の中から33話を選んでまとめたが、これらの話の中にもこれからの研究材料がひそんでいるように思われる。

毎月の例会で打合せをし、小グループによるプロジェクトを組み、以上の事業を行って身近な文化遺産を見つけ出すことができた。それらの展示会や会報の配布を通じて地域全戸への情報提供により郷土意識が高まり、当初の目的はほぼ達成したものの、まだ参加への行動が今一歩というところにあり、今後の取り組みの道が残されているように思われる。

## 弥生時代の住居復元と活用 嬉野町立中郷小学校

一志郡嬉野町は古代遺跡が多く、中郷小学校も弥生時代の住居跡「宮野遺跡」にかかっている。大昔の人々の暮らしを体験しながら学んだらとの茂岡校長の提案に、高学年児童、教職員、PTA、農協、老人会など地域ぐるみで協力、校庭に弥生時代の竪穴式住居を復元し、地区文化祭に完成、公開した。学校ぐるみ、地域ぐるみの文化財の保護活動推進の貴重な実践としてとりあげた。

### 弥生時代後期の住居復元工事について

一志郡嬉野町立中郷小学校校長 茂岡春美

#### 1. 住居の復元を思い立った動機

昭和56年4月本校に着任して、学区内の環境を調査している中に、この地区にも古代住居の遺構があり、すでに10数年も前に調査報告書ができていたことが判明した。土器、石器等の出土品から、弥生の後期だろうとの調査結果であり、本校の立地点が遺構の出口付近にあることが想像された。



56年の秋、本地区初めての校

区内を総動員しての「文化祭」を開催することになり、高学年の児童によって、郷土の文化遺産や、伝統芸能、或は遺跡等を調べて、パネルを作ることにした。その結果、城跡五ヶ所（いずれも出城或はとりでの類）釜生田古墳を中心とする古墳群、立ち丘と呼ばれる丘陵地に住居跡があることが、こども達の現地調査や、文献によって確認することができた。文化祭を頂点として、こども達の郷土学習の中から、全く素朴で、しかも、こどもらしい発想の中に、立ち丘の住居跡では、古代の人々がどんな家に住み、どんな食物をたべ、どんな生活をしていたのだろうか、というような疑問が、次々と口に出るようになった。

パネルを作っている中に、その話は一段とエスカレートし、職員会議や、出品物の調査段階に於ても、「住居跡の復元を試みたら!!」という話が聞えるようになり、職員の一部には、わざわざ発掘調査が行われている現地を訪れて、出土品や遺構の規模などを見学し、係からその説明等を受ける機会もあった。

そのような暗中模索の中で、PTA、老人会等から、こどもたちの素朴な疑問に答えてやる為に、住居の復元をしようではないか!!という復元工事実現への期待が一段と現実味を帯びて、有志の人々の話題に上り、可能性を秘めた中に昭和56年度も過ぎていった。

昭和57年度に到り、いよいよ計画を実施に移すべく、先ず本校職員の全員が、先頃行われた文部省指定

の「富山県下新川郡朝日町」の復元工事の実際を、夏休み中の職員旅行を兼ねて、丸一日をついやして、現地説明やら、現場見学やらを行い、昭和57年秋の完成を目指して始動することになった。

## 2. 復元工事に至るまでの経過

### (1) PTA委員会への提案

昭和57年度第1回のPTA運営委員会に復元工事の概要を説明して協力を求めた。結

論的に言えば、趣旨は結構であるし、教育的意義も理解できる。しかし、現実の工事となると、時間的な問題はともかく、この様な仕事には全く経験がないので実際問題としては不可能である。我々で出来ることは、最大限に協力するから、復元作業そのものは経験豊富な「老人会」へお願いしたらどうだろう、との結論になった。

### (2) 中郷老人クラブへの提案

PTAの率直な意志をうけて、中郷老人クラブ(中山 尚会長)の総会に工事の協力方を依頼した。俺達の手で出来るだろうか、野小屋程度のものならともかく、復元工事となると、専門家の意見や、設計図も一応は作らなければならないし、えらい事になったなあ!!という意見であった。会員の中に長谷

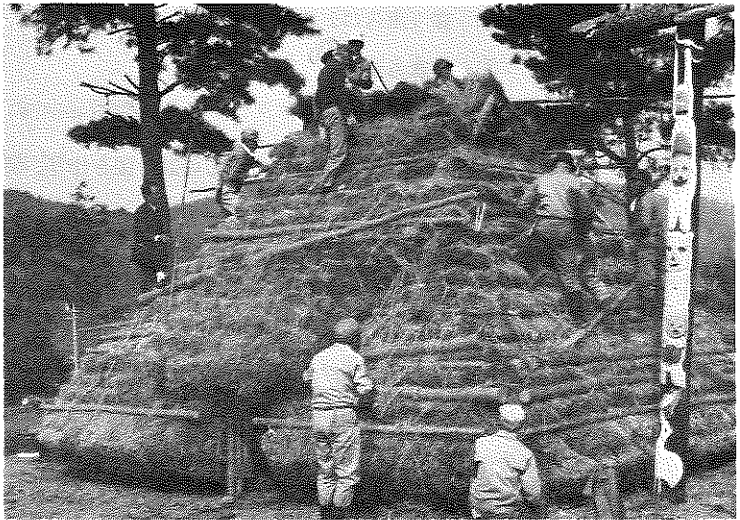


川房吉という本会の役員であり、本業が大工である人物がいて、骨組みや、一般施行についてはお手のもの、幸い若い時代に農家の藁屋根を葺いた経験もあるので、何はともあれ老人会の面目にかけても、この際実現に向けて前向きで取り組もうじゃないか!!という心強い発言があり、その声を境に事態は一揆に実現に向けて第一歩を踏み出す事となった。



### (3) 準備委員会の開催

老人会では、早速本部役員、地区役員等20数名にのぼる委員会を召集して、材料の手当、作業日程の計画等、具体的な問題について着々と準備が進められることになった。特に材料については、各人から寄付の申し出があり、白木安郎氏が、昨年に間伐をした桧丸太、杉丸太等があるから提供する。竹材は……、作業機械



は……、柱材は……、茅や藁は……という様に、各人の積極的な材料寄付、労力奉仕等の計画が着々と進行していった。昭和57年8月の事であった。未曾有の大災害をもたらした台風10号が嬉野町を直撃した直後の事であった。

### 3. 材料等の集収と有識者の会合

- (1) 丸太材集め 10月16日 会員10名参加

白木氏の山から、丸太材約60本を会員のトラックで学校へ運ぶ。

- (2) 竹材切り 10月18日 会員10名参加

会員の竹林から約200本を切り出し学校へ運ぶ。

- (3) 茅刈り 10月20日 会員5名により終日弁当持ちで、宇気郷地内まで行って、軽トラック3台分の茅を刈り、即日学校へ運ぶ。

- (4) 縄の調達 機械縄30玉を白山町の業者から購入  
材料の中で唯一の購入品 支出3万円

- (5) 設計図 県文化課 吉村利男主事

有識者 脇田敏実氏（森本在住、文化財調査の経験者）

老人会 長谷川房吉氏（老人会役員）

学校側 校長、教頭

等が数回に亘って会合をもち

① 建物の大きさ

② 向き

③ 建築の材料

- ④ 骨組みの仕方
- ⑤ 窓（出入口）の取り方
- ⑥ 排水方法
- ⑦ 屋内の模様

等について協議を行い、吉村主事の手で一応の設計図を作り、更に工事担当の長谷川氏からの意見も尊重しながら、設計図を完成した。(付図参照)

#### (6) 職員・児童による材料集め

嬉野農協中郷支所の協力を得て、集団転作麦作田から麦藁を無償で譲り受け、5、6年生と職員6名とで約30a(3反)分の麦藁を結束し、PTA会員の大型トラックの奉仕で学校まで運搬し、雨被いをして保管した。(6月10日の事である)

#### (7) 稲藁の不足分の充足

茅を小束で約100束、麦わら約3反分を集めたが、まだ不足することが見込まれるので、急きょPTA会員に依頼文書を出し、会長以下、農家から各戸一束(小束20把)ずつの提供を依頼した結果、約100束の稲藁が集まった。実際には、それでも足りなくて余分のあるPTA会員宅、或は老人会々員宅から30束近い提供を受ける事になった。この様にして、綿密な計画の下に諸般の準備段階が終り、いよいよ着工へ向けて動き出すことになった。

### 4. 工事の着工

//昭和57年10月27日、待望の起工式//午前9時から、職員、児童、PTA、老人会、来賓等が集って現地で起工式を行った。祭文は、本校教頭、川中富二雄が素人はだしの名文を作り、のりとを奏上して、工事の無事と完成を祈念した。



#### (1) 着工

起工式が終ると同時に工事が開始された。老人会の会員

は、早朝からそれぞれ必要と思われる道具を持ちより、この時に備えた。老人会の役員、委員19名、更にPTAの有志、本校職員も参加してここに二年越しの工事が始動した有意義な日であった。

#### (2) 工事の順序

イ、地割り

設計図に従って方向を定め、地形、地物を勘察しながら建築場所の選定を行い、丁張り、水糸を引いて正確な建築場所の地割りを終了した。

ロ、基礎杭打ち

ほぼ四角に近い用地に2尺(約60cm)間隔で、長さ5尺(約1 m 60cm)の杭32本を3尺の深さまで打ちこんだ、大変な力のいる重作業であった。

ハ、四本柱建て

屋根支持の中心となる四本柱(末口約4寸、長さ約4 m)のものを土中深く埋めこみ、支持母体とした。

ニ、四本柱の継ぎ

四本柱は、更に四本のハリによって固定し、安定を計る。

ホ、周囲垂木の結束

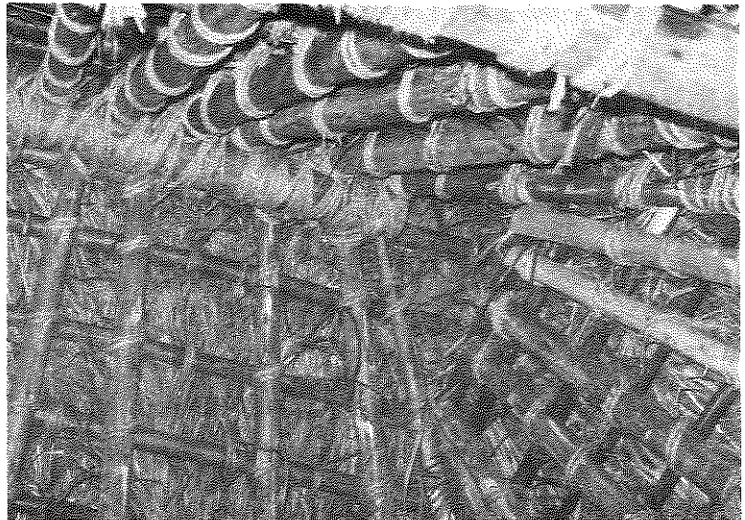
32本の丸太を基礎杭に結束し、更に、ハリに結束し、屋根の峯で合掌になるように縄で結束する。表面から見た所、すべて縄で結束した様に見えるが、実際には番線で固定し、番線が見えないように縄が巻く感じの結束方をとった。一部カスガイを使用した部分も同様に、番線やカスガイをすべてかくす様な方法をとった。

ヘ、屋棟の組立て

棟木(3尺)をいれて合掌を適当な長さに切断しながら屋根の棟を作る。

ト、竹の結束

径3~4 cmの青竹を30cm間隔に組み上げる作業であるが、木と竹とを結ぶので余程、熟練を要する作業である。ゆるくなると後での屋根葺の作業ができなくなるし、固すぎると竹を破ってしまう。やむを得ず、結束部分に細ドリルで穴を明け、3寸釘でうちつけ、その上から縄で結ぶような方法をとった。その結果、木と竹が固定され、屋根葺が大変楽になった。



チ、出入口の構造

次頁の出入口の構造で見る通り、柱を一本切り、両方の柱との間に、のき丸太を固定して、高さ4尺、巾

合掌組み

4尺の出入口を作った。出入口の屋根は、途中から一段上げ、出入口専用の屋根の型を作った。

#### リ、屋根葺作業

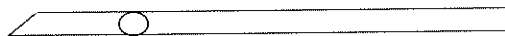
復元工事中、最も時間をとり、工夫を要し、苦勞した作業であった。先ず基本的には、最下部の屋根の厚さ1尺5寸とし、上部になるに従って薄くし、屋の棟は五層の上に、上葺きと青竹でおさえを作った。

- ◎最下層の部分は全面に茅の一束並べる
- ◎中層に稻藁を並べる
- ◎上層に麦藁を並べる

いづれも各層を縄で骨組みに固定する。

△縄を通す為の目刺の製作（目櫛と言うか？）

経験とは誠に貴重なもので、会員達は互に相談しながら、細竹の雌竹を使って、目ぐしを自作した。



縄が通る程度の穴をあけ、先と穴の部分は火に焙って固くし、1尺2～3寸もの厚さの藁を突き通す道具を作った。この道具を表からと裏からと交互に突きさし、縄を通し、踏み固めながら丸太に結びつける作業に丸三日間を要する難工事であった。

#### ヌ、内部の掘り下げ作業

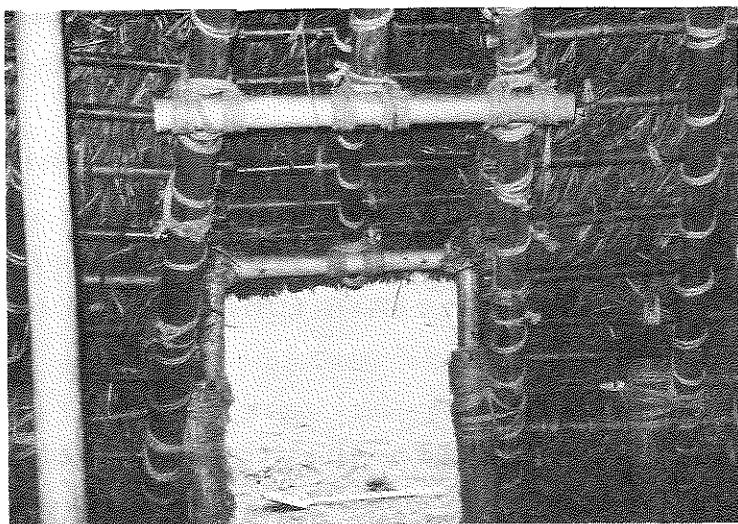
一応の建作業が終った後から、児童と職員の手で内部の掘り下げ作業を行った。約20cmを掘り下げ中央に「いろり」を作り、いろりの囲りは石で囲って一応の形を整え、余った土で支柱囲いの補強にした。

#### ル、外廻りの排水溝の設置

この作業もこども達で行った。雨水が落ちると予想される位置に、巾30cm、深さ約20cmの溝を作り排水溝とした。内部からの排水も考えて、内部排水の穴も2か所に作った。

#### オ、その他の設備

- (1) 周辺の竹矢来の製作



内部から見た出入口

P T Aの作業として、日曜日的一天を使って、周囲に竹の矢来を作ることにした。高さ1 m、20 cm間隔の斜め竹矢来として、外部からの侵入を防ぎ、防火と景観の二面を兼ねることにした。若い人達には、垣根結びの結び方が分らず、とまどう人達も多かったが、経験者の指導で、何とか形がついた。

## (2) 説明用の看板の製作

文案は、学校で作作り、P T A会員中の業者の協力で説明書のボードが出来、ついでに火気厳禁の立札を作って建てた。

以上の様な過程を経て、一応念願の竪穴住居の復元工事は完工することになった。この間の老人クラブの労力奉仕は、連続一週間、延人数150名に達する大工事であった。もちろんこの間の人件費は全くの無料、中には祝儀を持って来校いただくなど孫達の教育にかける、老人パワ一の偉大さをまざまざと見せつけられた事業であった。



復元工事に終始協力していただいた老人会の人達(他に数人)  
中央・黒帽子が中山会長 その右・紺のベストが長谷川氏

## 5. 完 工 式

11月20日(土)、11月21日(日)を文化祭の日と定め、学校、P T A、老人会、自治会等の村内を挙げての文化祭を行い、その中の一行事として完工式を行った。

20日には、P T Aと子ども達の「もちつき会」を行い、約60kgの餅をついて、子ども達はお昼に「おろし餅」「あべ川餅」「あづき餅」などにして腹一杯たべ、5、6年生の児童と母親の手で明日の「なげ餅」用の小餅を1,000個位作った。

翌21日は、日曜日と快晴に恵まれ、9時から教委、自治会等の来賓の出席も求めて完工式を行い、学校長のお礼の言葉、老人会長からの励ましの言葉などがあり、約1時間で式を終り、出来上ったばかりの屋根の上から、老人会数名による「なげ餅」の行事を行い、目度く復元工事は完成した。

式の終了後、屋内を解放し、一般の参観の便を計った。一日だけで約300人の参観者があり、参観者は口々に「昔の人はこんな家に住んでいたんやろか!!」

「何を食べていたんやろ!!」

「どんな仕事をしていたんやろ!!」

「この中に何人位が住んでいたんやろ!!」

「夜の照明は、どんなものを使っていたんやろ!!」

「生活道具にはどんなものがあつたんやろ!!」

等々の質問がとび出し、答える方も一苦勞の一日であつた。

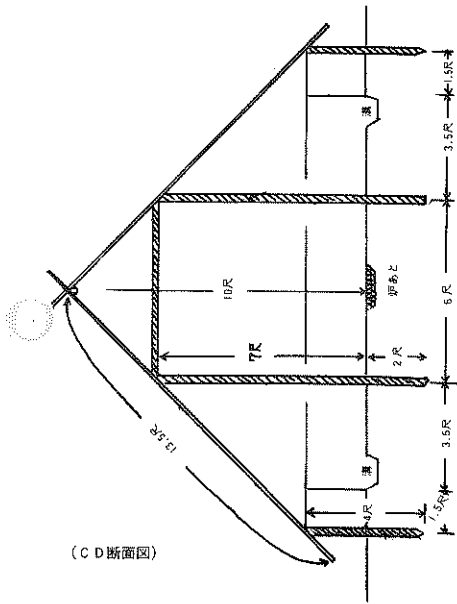
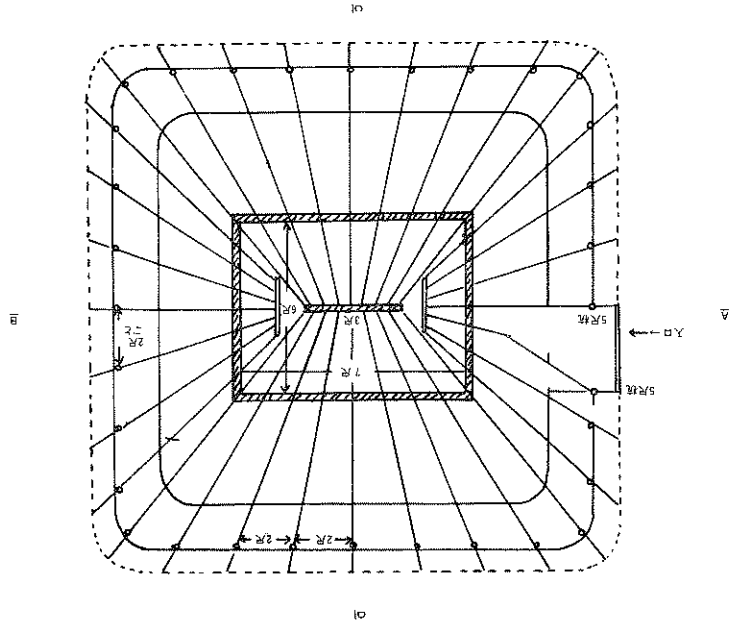
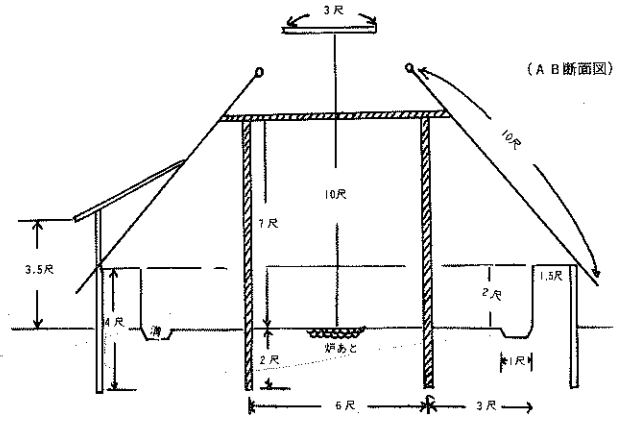
今後、このような疑問に答えるべく

- ① こども達にはこの中での生活経験として野外活動の中心点としての役割。
- ② 昔の食事の経験。
- ③ 生活用具、狩りよう用具の再現。
- ④ 衣服の考証。

等を今後の研究課題として、来年度へ持ちこしている。私は作ったけれど、魂を入れるのはこれからの仕事、この住居を拠点として、こども達の夢をますますふくらませていく行事を考えていきたいと念願している。

兎に角、老人会の各位、PTA、地区の皆さんの御協力に感謝して、報告書とします。

(付図) 竪穴式住居設計図



# 資 料

## 1. 文化財愛護強調週間行事 11月1日～7日 昭和57年10月22日付の通知に対する各市町村教育委員会の実施報告による。

### 1. 県

実施事項	実施概況
文化財保護連絡会議	教育事務所単位(教委、開発関係)
発掘遺跡現地説明会	国史跡 齋宮跡 他
文化財講演会	齋宮跡

### 2. 市町村

39市町村(前年比 5市町村増)

実施市町村	実施事項	実施市町村	実施事項
多度町	文化財展示会(埋蔵文化財、古農具)	明和町	齋宮跡講演会、現場説明会、齋宮跡出土品展示会
木曾岬村	文化財虫干し、文化財展示会		文化祭(みいと織り表演、指定文化財展示)その他
員弁町	町内文化財の調査、パトロール	大台町	文化財展示会、芸能発表会、文化財調査、北畠城址見学会
大安町	町内伝統芸能(太鼓、笛、鉦)の採譜	勢和村	有形文化財展示、芸能発表会
東員町	山田城跡現地説明会、文化祭展示(発掘出土品)	宮川村	村内文化財紹介(広報)その他
藤原町	文化財・史跡めぐり、藤原町文化財誌編さん会、その他	伊勢市	市民芸能大会、文化講演会、文化財講座 その他
四日市市	郷土史講座、郷土資料・生活用具展示会、郷土芸能発表会、史跡めぐり、移動文化教室、文化映画観賞会 その他	二見町	芸能発表会
菰野町	郷土資料展、郷土芸能発表会 その他	南勢町	総原地区墓石調査、民俗資料室整備、文化財研究会 その他
鈴鹿市	文化財めぐり、文化財説明会、移動文化教室 文化財展(埋蔵文化財、型紙実演等)その他	御園村	文化祭展示
亀山市	文化財めぐり、幕末の亀山藩士遺墨遺品展、広報活動 その他	大内山村	小学校郷土研究会、郷土芸能発表会、文化講演会
関町	文化祭(郷土芸能発表会、郷土民俗資料展)広報活動 その他	鳥羽市	文化財展 その他
津市	郷土教室(文化財めぐり7コース)	浜島町	町内史跡めぐり、講演会、古文書展、みんなの宝展
河芸町	文化祭(文化財展示会、芸能発表会)その他	志摩町	町文化財しおりの作成配布、文化財調査見学会 文化財防災点検 その他
芸濃町	文化祭(雨乞織展示)、文化財清掃奉仕 その他	上野市	文化財調査研究会(齋王塚屋址、久昌寺 他)
安濃町	町内郷土史文化展	名張市	名張地区文化財展(第6回、市内一巡) 能面展(市指定)その他
久居市	近世農器具・消防ポンプ展、広報活動 その他	伊賀町	文化財巡視 その他
香良洲町	石標・文化財の写真展	阿山町	文化財愛護広報、東湯舟調査研究会 その他
一志町	文化祭(発表会、展示会)	島ヶ原村	文化財保護講演会、文化財消防講習会、文化財めぐり 広報活動 その他
松阪市	本居宣長旧宅跡及び長谷川家見学会、松浦武四郎展 本居宣長特別展 その他	大山田村	史跡めぐり、村史文化財関係学習会 その他
飯南町	川俣・宮前史跡めぐり、町民俗資料蒐集整理、講演会 芸能発表会 その他	紀伊長島町	町民文化展、郷土史研究講座



2. 文化財防火デー 1月26日—第29回—

昭和57年12月15日付の通知に対する各市町村教育委員会の実施報告による。

桑 名 市

実施事項	実 施 概 要
防火訓練	* 神館神社 同社務所より出火の想定の下に桑名消防署出動、氏子、自治会の人も参加して消火訓練を行った。(初期消火の訓練、消防車による放水訓練) 1月20日(木) 午前10時～11時 参加者20名
指導	* 指定文化財の所有者、管理者に対し、防火の点検等を依頼した。

四 日 市 市

火災予防火査察	<p>* 四日市市教育委員会・四日市市消防本部・所轄消防署 1月24日(月) 四日市市立郷土資料庫(銅たく) 大聖院(不動明王立像) 地藏堂(地藏菩薩坐像) 日永薬師堂(薬師如来坐像) 顕正寺(仏頭、阿弥陀如来立像) 足見田神社(お諏訪踊り舞踊具一式) 1月25日(火) 正法寺(地藏菩薩坐像) 観音寺(慈恵大師坐像等) 志氏神社(志氏古墳出土遺物等) 善教寺(阿弥陀如来立像等) 龍王山宝性寺(本殿) 経塚公園 大樹寺(仏ねはん図) 市場町公会所(獅子舞踊具) 1月26日(水) 白木結納店(古万古) 建福寺(仏ねはん図等) 鯨船山車保管庫 大入道山車保管庫 鶴森神社(十六間四方白星かぶと鉢) 四日市市文化会館(陶製燈籠) 1月27日(木) 大日寺(大日如来坐像) 海老原秀治氏宅・藤沢申一郎氏宅(各、獅子舞踊具) 信貴山別院(びしゃ門天立像) 悟懐寺(阿弥陀如来立像等) 四日市市立図書館(井島文庫等)</p>
消火放水訓練	<p>* 鯨船山車保管庫 県指定有形民俗文化財鯨船山車保管庫より出火の想定の下に中消防署出動、地元港第1自主消防隊、婦人会等も参加、消火・救助活動及び鯨船山車等搬出などの訓練を実施。訓練後中消防署長より訓話。1月23日(日) 午前9時～ 参加者約300名。 * 高角山大日寺 市指定文化財大日如来坐像が安置されている本堂より出火の想定で中消防署出動、隣組自衛消防隊も参加して消火活動。訓練後、中消防署長の訓話。1月24日(月) 午前9時30分～ 参加者約60名。 * 大聖院 国指定重要文化財不動明王立像を安置する庫裏より出火を想定し、南消防署より出動、隣組・婦人会等の協力で文化財の搬出・消火活動を実施。1月25日(火) 午前9時50分～参加者約80名。 * 建福寺 市指定文化財仏ねはん図が安置されている本堂より出火を想定、中消防署が出動、文化財の搬出と消火活動を実施。1月25日(火) 午前10時30分～ 参加者約120名。自治会も参加。 * 垂坂山観音寺 国指定重要文化財慈恵大師坐像等を安置する本堂より出火を想定、北消防署より出動。文化財の搬出・消火活動を実施。地方大欠知地区消防団も出動、自治会等も参加。訓練後、北消防署長の訓話と文化財の見学。1月25日(火) 午前11時～ 参加者約120名。 * 顕正寺 県指定文化財阿弥陀如来像及び仏頭が安置されている本堂と庫裏の間より出火を想定。南消防署・四郷地区消防団・自治会等も参加して文化財の搬出や消火活動を実施。1月26日(水) 午前10時～ 参加者約60名。 * 善教寺 国指定重要文化財阿弥陀如来立像・胎内仏等を所有する善教寺庫裏より出火を想定、北消防署が出動、文化財の搬出・消火活動を実施。 1月27日(木) 午前10時～ 参加者約80名。</p>

広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 近鉄四日市駅へ「文化財防火デー」の看板設置。</li> <li>* 文化財所在地域へ、文化財防火デーについて広報車による宣伝活動。</li> <li>* 文化財所有者・管理者等へ、防火・防災・防犯の呼びかけ文を配布。</li> <li>* 文化財防火についてのチラシ配布、回覧。広報紙への掲載し市民へ広く呼びかけ。</li> </ul>
------	---

鈴 鹿 市

防火査察	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 鈴鹿市教育委員会・鈴鹿市消防本部 1月24日(月) 午前9時～午後4時 林光寺(千手観音立像) 太子寺(善然上人坐像) 神宮寺(多聞天立像等) 妙福寺(大日如来立像等) 南陽寺(釈迦如来坐像) 子安観音寺(仁王門)の計6か所について、文化財の保管の状況、火気管理の状況、電気設備の状況、消防用施設の状況等について査察と不良箇所等を指摘。</li> </ul>
消防訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 子安観音寺 県指定文化財仁王門より出火の想定の下に、消防本部(2台)、白子分団(1台)の消防車が出動し消防(放水)訓練を行った。又、消火器による訓練も同時に行った。 1月25日(火) 午前10時～ 参加者400名(子安観音寺さくら幼稚園児384名、一般16名)</li> </ul>

亀 山 市

防火点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 国、県、市の指定文化財の施設について消防署と連絡をとり点検した。特に防火のための消火器、危険物の除去、避難について1月第4週(18日～24日)に点検した。</li> </ul>
防火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 円福寺 本堂より出火し経巻取蔵の経堂に延焼の恐れありという想定のもとに、1月26日(水) 午前9時30分より10時30分まで防火訓練を実施した。市消防署より普通消防車と化学消防車を出動させ、消防署員と寺の人と教育委員会職員が、通報・消火訓練に参加した。</li> </ul>

菰 野 町

設備点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 菰野町郷土資料館 杉谷取蔵庫(杉谷遺跡出土品等) 菰野町社会福祉センター(町図書館有) 1月26日(水) 午前9時～12時 菰野町消防係6名、ポンプ車1台</li> </ul>
------	---

津 市

防火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 専修寺・慈智院及び一身体田橋地区 津市一身体田町 地震警戒宣言のもと、警戒体制に入り、婦人防火推進委員募集。その後地震発生、御影堂のローソクが倒れ出火の想定。本山職員は消火栓による初期消火、重要文化財の搬出に当り、各消防隊は火災防ぎに当る等、避難、消火、搬出、救護等の訓練を実施。訓練後関係者で反省会をもつ。 1月26日(水) 午前10時～ 参加車輛 消防署8台(消防車5、救急車1、広報車1)、消防団3台、計11台 参加人員 消防職員、団員、本山職員、婦人防火推進委員、自主防災隊、高田幼稚園児等 318名</li> <li>* 蓮光寺 津市栄町3丁目 本堂内ローソクの火より出火、住居部分へ延焼の想定で、消防署への通報、消火器による消火訓練を行う。消防隊ははしご車による延焼防止訓練を行った。 1月26日(水) 午後2時～ 参加車輛3台、参加者 消防署・蓮光院 13名</li> <li>* 西来寺 津市乙部</li> </ul>
------	--

防火訓練	<p>同幼稚園湯沸室より出火延焼を想定、避難訓練、救護訓練、消防隊の火災防ぎょ訓練を行った。</p> <p>1月25日(火) 午前10時～ 参加車輛3台、参加者 消防署、西来寺、幼稚園児 60名</p> <p>* 谷川士清旧宅 津市八町3丁目 観覧者がストーブを倒し出火を想定、旧宅職員は通報と初期消火を附近住民と行い、消火器、バケツリレー等を行う。消防隊は消防団の協力を得て消火訓練を行う。</p> <p>1月26日(水) 午前10時～ 参加車輛5台、参加者 消防署、団員、婦人防火推進委員等 47名</p> <p>* 神宮寺 津市納所町 庫裏のストーブより出火の想定。火報の作動、住民及び婦人防火推進委員はバケツリレーで消火訓練。自警団は手びきポンプで放水。消防署、消防団出動放水。後で消火器の取扱訓練を行った。</p> <p>1月26日(水) 午後1時30分 参加車輛6台、参加者 消防署、団員、自警団、自治会等 62名</p> <p>* 雲出小学校旧校舍玄関 津市雲出本郷町雲出小学校内 給食室より出火想定。学校職員は通報と初期消火、消防隊は消防車2台で消火活動を行った。</p> <p>1月26日(水) 午前10時～ 参加車輛3台、参加者 消防署、学校 18名</p>
立入検査	<p>* 消防署より防火対象物（建造物）所有者の立入検査を行った。</p> <p>専修寺(国、県、市指定) 1月25日午後1時～ 慈智院(県指定) 1月25日午後3時30分～</p> <p>谷川士清宅(国指定) 1月26日午前11時～ 神宮寺(市指定) 1月26日午後2時～</p> <p>阿部家住宅(市指定) 1月26日午後3時～</p>
広報活動	<p>* 津市政だより 1月25日及び2月1日号で文化財防火デーに関する記事を掲載、各戸配布。</p> <p>* 指定文化財所有者に対し、防火・防災に関する注意書発送、注意を喚起。(消防署と教委より発送)</p> <p>* 文化財防火のチラシを作成、訓練当日附近住民に配布。</p> <p>* 文化財防火デー立看板を作成、高田本山、谷川士清旧宅、神宮寺で一週間掲出、文化財防火のPRを行った。</p>

#### 河 芸 町

防火訓練	<p>* 町内の神社、仏閣について消防署と合同の防火訓練、施設の防災計画及び消火器等の点検を行う。</p> <p>また、地元消防団とも協議。2月 日 午前10時～午後2時 参加者 50名</p>
ロバート	<p>* 消防署と協力、文化財地図の作成とパトロール実施。2月下旬～3月。</p>

#### 芸 濃 町

立入検査	<p>* 芸濃町資料館 芸濃町林 津消防署芸濃分署と共に巡視、消火器の点検を行う。火気取締り責任者設置必要。</p> <p>* 浄蓮寺 芸濃町楠原 文化財所蔵の本堂、庫裏等の測量。消火器点検、火災発見時の文化財等の搬出方法の説明指示。</p> <p>* 長徳寺 芸濃町瀬野</p> <p>* 美濃夜神社 雲林院 文化財の棟札の保管状況調査、消火器点検、ガスつめ替え指示。</p>
------	---

#### 安 濃 町

防火訓練	<p>* 重要文化財毘沙門天立像所在の安濃町連部地区住民30人に対し、震災時の心構え、避難及び簡易水道消火栓による初期消火について、町教委、消防団員の指導で防火訓練を実施した。</p>
------	--

	1月26日(木) 12時30分～
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 県指定文化財聖徳太子立像所蔵の安濃町安濃地区松原寺において、地元地区民に対して文化財の防災についての説明会を実施。1月7日 午後3時～</li> <li>* 広報車で町民に文化財愛護思想と防災意識の高揚を呼びかけた。1月26日 午前10時～ 町内全域</li> </ul>

### 三 雲 村

消防査察	* 国の重要文化財上ノ庄永善寺阿弥陀如来坐像保護のため、松阪地区広域消防組合三雲分署より4名出動、建物の状況等消防査察を受け、消火器の点検指導を受ける。査察後、管理者、世話人、教委を含め反省会を開く。1月26日 午後1時～
研修	* 文化財研究会、生涯教育講座“郷土史”と二つのサークルがあり、月に1～2回、年間を通じて文化財等についての研修を行い、保護と啓発に努めている。

### 美 杉 村

啓発	* 啓発活動の実施
----	-----------

### 松 阪 市

防火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 特別史跡本居宣長旧宅及び市立歴史民俗資料館 同所より出火の想定の下に、松阪消防署出動を要請して消防訓練を行った。訓練後、消防署より消火活動についての注意、消火器を使用した初期消火活動の点検があった。</li> <li>1月26日 午前10時～11時 参加者 同職員、教委 12名</li> </ul>
------	---

### 飯 南 町

点検	* 文化財保護のための防災器具の点検、文化財所有者に対して防災器具の点検を促した。
広報	* 広報無線により、全町民に文化財保護のための防災について周知徹底をはかった。

### 飯 高 町

広報	* 町内社寺及び文化財所有者に対し、震災時の心構え、初期消火のしかたについての説明書を送付した。
----	--

### 多 気 町

点検	* 消防署員により、町内文化財の防火設備を点検、防火に関する指導を実施した。1月26日、28日
----	---

明 和 町

点検活動	<p>* 国、県、町指定の有形文化財保有者の住民に対し、火災・震災時等に対する心構え、避難及び初期消火等の行動について、町教委職員、齋宮跡調査対策室職員、文化を守る会役員、消防明和分署員による上記の啓発、啓蒙、点検活動を実施した。</p> <p>1月24日、25日 午前10時～ 参加者 16名</p>
啓発	<p>* 明和町指定有形文化財の説明板の設置と、保存管理者に対し文化財の重要性和防災に関する認識を訴えた。1月26日 午前9時～ 参加者 教委、署員、一般 7名</p>

大 台 町

広報	<p>* 広報紙によって呼びかけた。</p>
----	------------------------

宮 川 村

点検	<p>* 民俗資料館を村文化財保護委員で防火チェックした。</p>
啓発	<p>* 村文化財保護委員会を実施し、本村の文化財施設の防災の現状と今後のあり方について話し合った。</p> <p>* 文化財に対する関心を呼び起こし、文化財の防災に役立てるべく村広報紙に関係記事を掲載した。</p>

勢 和 村

点検	<p>* 1月26日を中心に各消防分団で消防機械器具の点検。参加者 180名</p>
指導	<p>* 1月26日 文化財管理について所有者に指導。</p>

鳥 羽 市

防火査察	<p>* 丸山庫藏寺、青峰山正福寺について消防署員と教委職員で防火査察した。</p> <p>消火器等の点検。防火水槽設置を要望した。「境内禁煙」の掲示板設置を要望した。</p>
------	--

伊 勢 市

立入検査	<p>* 世義寺 自火報、消火器、漏電、異常なし。ストーブ1基耐震性に是正指示。</p> <p>* 寂照寺、光明寺 異常なし。</p> <p>* 等観寺 消火器、漏電異常なし、タコ足配線是正指示、ストーブ1基耐震性に是正指示。</p> <p>以上 1月24日(月) 市消防署員、中電職員、市教委 6名</p> <p>* 神宮徴古館農業館 消火器7本期限切れ、自火報漏電一部異常修理指示、誘導表示板の設置指示。</p> <p>* 神宮文庫 自火報境界区域図の明示及び防火管理者の資格取得と消防計画の提出指示。</p> <p>* 祭主職舎、林崎文庫 異常なし。</p> <p>以上 1月25日(火) 市消防署員、中電職員、市教委 7名</p> <p>* 久昌寺、金剛証寺 異常なし。1月26日(水)</p>
------	---

消火訓練	<p>* 金剛証寺          本堂（重要文化財）より出火を想定し、金剛証寺自衛消防団を非常召集し、放水消火訓練を実施。さらに、開山堂前で消火器を使い消火訓練を行う。          1月26日(水) 市消防署員、中電、市教委 8名 及び自衛消防団員</p>
------	---

度 会 町

防火点検	<p>* 伊勢消防署と共に国及び県指定の有形文化財の防火点検を行う。中電職員も同行、配線点検もした。注蓮指の正法寺では、外部配線の碼子をA V碼子に交換指示。          1月19日 午前10時～ 参加者 消防署、中電、町教委、地元責任者 9名</p>
------	---

阿 児 町

立入検査	<p>* 国、県指定文化財の建造物の立入検査を行った。          薬師堂（立神） 国分寺（国府） 安乗人形芝居舞台（安乗）          1月26日 参加者 志摩消防署、町教委 6名</p>
------	---

志 摩 町

査 察	<p>* 文化財調査委員による町内文化財の査察を行った。          * 文化財（主に建造物）の消防器具等について、文化財調査委員、消防署員合同で点検、補充等実施。</p>
啓 発	<p>* 文化財防災に関する主旨の徹底を図る。有線の活用、チラシ配布等を行う。          * 文化財調査委員、文化財関係者による防災知識の認識等実施。</p>

南 勢 町

防 火 査 察	<p>* 教委の保管する民俗資料(民俗資料館収蔵倉庫)の調査点検。消火器増設、配置場所の変更をきめる。文化財保護審議会全員立合い。          1月26日 午後2時～ 参加者 11名          * 県指定文化財（五ヶ所浦正泉寺蔵“大般若経”）の保管状況調査及び消火器点検。          火災報知機設置を寺の関係者に説明。          1月26日 午後1時 参加者 15名          * 町指定の文化財（船越区所有仏像）調査。防災カーテン設置が必要。          1月26日 午後3時～ 参加者 15名</p>
---------	--

上 野 市

防 火 訓 練	<p>* 仏土寺（国重要文化財阿弥陀如来坐像 他）          ストープの不始末から出火した火災が強風にあおられ本堂に延焼という想定のもとに、消防本部、消防署、北部消防団、地区民等が出動して消火、市教育委員会による指導による重要文化財の搬</p>
---------	--

防火訓練	<p>出、寺関係者及び地区民による初期消火等の訓練を実施。訓練後、文化財防火デーの趣旨、文化財保護についての説明。</p> <p>1月26日(水) 午前10時～ 参加者 消防署、寺関係、地区民、市教委 65名</p>
啓発	<p>*地区民を対象に、消防課予防係の指導による消火器の使い方についての現地講習を行った。</p> <p>*火災報知器、消火栓、消火器等の点検を行うとともに「文化財防火の手びき」を配布した。</p> <p>1月24日25日 猪田神社(国重文)他10ヶ所 参加者 消防課予防係、教委文化係</p>

名張市

消防訓練	<p>*寿栄神社(市指定文化財)</p> <p>社横より出火したと想定で、区民らのバケツリレーによる初期消火と代替物を使った重要品の搬出、市消防団と消防署がポンプ車、タンク車による放水訓練を行った。更に、会場を隣接する名張市老人福祉センターに移し、消火器の取扱説明及び消火訓練と防火映画の鑑賞を行った。</p> <p>1月26日 午前9時～ 参加者 100名</p>
啓発	<p>*名張市内の指定文化財所有者・管理者に対して、防火対策の強化啓発を行った。対象26件</p>

伊賀町

啓発	<p>*消防職員並びに教委等で消火知識等の講習を実施。</p> <p>*有線放送を通じ文化財の防災に関する広報活動を行う。</p> <p>1月26日 午後2回</p>
----	---

阿山町

啓発	<p>*文化財の愛護精神、意識の高揚に努めた。</p> <p>有線放送による文化財愛護の呼びかけ。</p> <p>神社、寺院に対して防火対策等について万全を期すよう指示。</p>
----	---

島ヶ原村

防火訓練	<p>*重要文化財観音寺等を火災から守るため、伊賀北部消防組合島ヶ原出張所の協力のもとに、防火訓練と消火器等の使い方の講習会を開催した。</p> <p>1月26日 午後1時30分～ 対象 観音寺関係者と婦人会、青年団、老人クラブ、住民 80名</p>
啓発活動	<p>*「文化財防火デー」の周知と文化財を災害から守り、文化財愛護思想高揚のため、有線放送と公用車で村内を巡回し、村民に啓蒙した。</p> <p>1月20日、26日 午後2時～</p> <p>*震災時の心構え、火災の恐ろしさ、初期消火、避難、灯油、ガス、消火器の取り扱い、災害の実態についての映画と説明会を開催した。</p> <p>1月18日 午後2時～ 対象 高齢者学級、婦人学級生、一般村民 120名</p>

大山田村

	<p>* 村指定文化財のうち建造物の査察を行い、警報設備、消火器について指導した。 新大仏寺大仏殿 極楽寺本堂 1月26日(水) 村教委、消防署員</p>
--	---

青山町

立入 検査	<p>* 県指定以上の文化財所有者に対して、文化財の管理と防火思想啓発のため現地指導を伊賀南部消防組合青山分署と合同で実施。 1月26日</p>
----------	--

文化財防火デー事業実施市町村数

昭和56年度 19市町村 → 昭和57年度 32市町村



桑名市神館神社における消火訓練



### 3. 文化財（国、県 彫刻）防災調査報告

国・県	名 称	市町村	所有者	自動火災 報知器	消火栓	放水銃	防火用水	避雷針	消火器	備考
県	木造千手観音立像	桑名市	大福田寺	有	基	基	m <sup>3</sup>	本	個	
"	木造阿弥陀如来立像	"	勧学寺				16		10	
"	木造獅子頭	"	神館神社							
"	木造薬師如来坐像	東員町	穴 太		1				1	
"	木造薬師如来坐像	大安町	光蓮寺		1				5	
国	木造不動明王立像	四日市市	大聖院						2	
"	阿弥陀如来立像	"	善教寺							収蔵庫
県	木造阿弥陀如来坐像	"	悟真寺						4	
"	木造地藏菩薩坐像	"	正法寺						6	
"	木造仏頭、木造阿弥陀如来坐像	"	顕正寺	有					3	
"	木造毘沙門天立像	"	永福寺						6	
国	木造慈恵大師坐像									
県	木造誕生釈迦仏立像	"	観音寺					有		収蔵庫
"	木造地藏菩薩坐像									
国	木造阿弥陀如来立像	亀山市	慈恩寺				有		4	
"	木造千手観音立像	鈴鹿市	林光寺	有					2	保存庫
"	木造善然上人坐像	"	太子寺						有	金蔵庫
"	木造大日如来坐像 2 軀	"	妙福寺	有			有		4	
"	木造釈迦如来坐像									
"	木造持国天像、多聞天立像	"	神宮寺							収蔵庫
県	木造男神立像									
国	木造金剛力士像	"	府南寺							収蔵庫
県	木造薬師如来坐像	"	法雲寺							
"	伊奈富神社神宝	"	伊奈富神社						3	宝物殿 (コンク リート)
"	木造釈迦如来坐像	"	南陽寺						3	
"	木造天神坐像	"	菅原神社						2	
"	木造大日如来坐像 2 軀	菰野町	竹成区				池		2	
国	木造大日如来坐像、木造阿弥陀如来坐像	津 市	蓮光院							収蔵庫
"	木造阿弥陀如来坐像	"	勝久寺						2	
"	木造聖観音立像、木造地藏菩薩立像	"								
"	木造地藏菩薩半跏像	"	大長寺						2	

国県	名 称	市町村	所有者	自動火災 報知器	消火栓	放水銃	防火用水	避雷針	消火器	備考
国	木造薬師如来坐像	津 市	光善寺		基	基	m <sup>2</sup>	本	個	収蔵庫
国	(国宝・重要文化財)									
県	木造親鸞上人坐像(附消息)	"	専修寺							収蔵庫
"	木造阿弥陀如来立像	"								
"	木造聖徳太子立像	"	厚源寺						1	
国	木造薬師如来坐像	"	四天王寺	有		2			2	
"	木造毘沙門天立像	安濃町	善福寺							収蔵庫
県	木造聖徳太子立像	"	松原寺		1					
国	木造阿弥陀如来倚像	白山町	成願寺							収蔵庫
"	木造千手観音立像	"	堂福寺							収蔵庫
県	木造薬師如来立像	"	東明寺						1	
国	木造薬師如来立像	嬉野町	薬師寺						1	
"	木造阿弥陀如来坐像	三雲村	永善寺						2	
"	木造地藏菩薩立像									
県	木造僧形坐像	松阪市	朝田寺							
国	木造阿弥陀如来坐像	"	清光寺							
"	木造地藏菩薩坐像	"	射和 自治会							
"	木造阿弥陀如来坐像	"	真福寺							
"	木造十一面観音立像	多気町	近長谷寺						1	
"	木造普賢菩薩坐像	"	普賢寺				8		2	
県	木造神像男神坐像、女神坐像	"	御霊神社						1	
国	(国宝)									
"	木造雨宝童子立像	伊勢市	金剛院寺							収蔵庫
県	木造地藏菩薩立像									
国	木造阿弥陀如来立像	"	久昌寺						2	
県	木造愛染明王坐像	"	世義寺	有	1		5		6	
"	木造阿弥陀如来坐像	"	光明寺						3	
"	獅子頭	"	茜 社		1					
国	木造十一面観音立像 2 軀	玉城町	田宮寺区							
県	獅子頭	"	山田寺						1	
国	木造千手観音坐像	二見町	大江寺				7		1	
"	木造薬師如来坐像									
県	木造阿弥陀如来坐像	"	明星寺						3	

国・県	名 称	市町村	所有者	自動火災 報知器	消火栓	放水銃	防火用水	避雷針	消火器	備考
					基	基	m <sup>2</sup>	本	個	
県	木造阿弥陀如来坐像	大宮町	福田寺							
国	木造十一面観音立像	度会町	正法寺						1	
県	木造阿弥陀如来坐像	大内山村	長久寺						1	
"	能面76	鳥羽市	賀多神社				有		3	
"	木造荒神像	"	庫藏寺						3	
"	木造仏頭、木造十一面観音立像	志摩町	和具 観音堂							金庫
"	木造薬師如来坐像	阿児町	国分寺		1				4	
国	木造薬師如来坐像	上野市	仏勝寺				15		3	
"	木造観世音菩薩坐像、勢至菩薩坐像	"	西光寺				40		3	
"	木造四天王立像、木造阿弥陀如来坐像	"	市場寺				200		2	収蔵庫
"	木造阿弥陀如来坐像	"	念仏寺	有	2					
"	木造阿弥陀如来坐像	"	仏土寺	有	2		20			
県	木造日光菩薩立像、木造月光菩薩立像	"								
国	木造阿弥陀如来坐像	"	観音寺				200		3	
"	木造五大明王像	"	常福寺						5	収蔵庫
県	木造大日如来坐像	"	長隆寺						3	収蔵庫
国	木造虚空蔵菩薩坐像	"	勝因寺				200	2	3	保存庫
"	木造日光菩薩・木造月光菩薩立像	"	蓮徳寺				30			収蔵庫
県	上野天神面	"	三之西町		1					
"	"	"	紺屋町		1		有		1	
"	"	"	相生町		1				1	
"	木造四天王立像	"	長楽寺						1	
国	木造聖観音立像、木造十一面観音立像									
県	木造薬師如来坐像、木造弥勒如来坐像	名張市	弥勒寺	有	有					
国	木造不動明王立像	"	無動寺	有			120		2	
県	木造阿弥陀如来坐像	伊賀町	西光寺		1				3	
国	木造地藏菩薩坐像	"	万寿寺		1				2	
県	木造薬師如来坐像	阿山町	西音寺		1		20			
国	木造十一面観音立像									
県	木造聖観音立像、木造十一面観音立像	島ヶ原村	観菩提寺	有	2	3		有		
"	木造多聞天立像、木造広目天立像									
国	木造阿弥陀如来坐像、木造僧形坐像									
"	木造如来坐像附石造基壇	大山田村	新大仏寺							収蔵庫

国・県	名 称	市町村	所有者	自動火災 報知器	消火栓	放水銃	防火用水	避雷針	消火器	備考
県	木造阿弥陀如来坐像、木造釈迦如来坐像	大山田村	広徳寺		基	基	m <sup>2</sup>	本	個	
国	木造十一面観音立像	青山町	宝巖寺		1				4	
県	木造薬師如来坐像	尾鷲市	真巖寺	有	1				1	
"	木造薬師如来坐像	海山町	安乗寺		1		2		3	

### 文化財（県指定建造物）防災調査

名 称	市町村	自動火災 報知器	消火栓	放水銃	防火用水	避雷針	消火器	備考
推敲亭 } 御成書院 }	桑名市		基	基	m <sup>2</sup>	本	個	
観音寺仁王門	鈴鹿市				有	1	1	
龍光寺書院	"						2	
関地藏院本堂	関 町	有	1		40		1	
専修寺山門	津 市							
" 唐門	"							
" 御廟拜堂	"							
慈智院本堂	"							
川口白山比咩神社本殿	白山町							
南出 "	"							
龍泉寺三門	松阪市							
朝田寺本堂	"							
" 山門	"							
寂照寺経蔵	伊勢市				2こ		2	
旧小田小学校	上野市		1		40			
常任寺閻魔堂	"		1				1	
猪田神社本殿	"						1	
愛宕神社本殿	"	有	1			1	3	
杉谷神社本殿	名張市						3	
旧亀山城多門櫓	亀山市						1	
旧越賀村郷蔵	志摩町		1				3	

\*昭和57年7月8日付の照会に対する各市町村教育委員会の回答による。

#### 4. 近世大名墓所調査

数年前から近世大名墓所の文化庁による国史跡指定への動向に関連して、全国の近世大名墓所の全貌を把握し史跡指定の参考に資する目的で、関係市町村の協力を得て県内の近世大名墓所調査を実施した。

藩名	大名家名	大名墓所所在地	面積	各墓碑の型式	墓所の所有者・管理者	備 考
長島藩	増山家	桑名郡長島町 大字長島中町54番地	5m <sup>2</sup>	長方形墓碑	花林院	増山正修墓碑 長男鎌五郎、三男光之助、 四男某 計4基
桑名藩	松平家	桑名市大字東方 1339番地	5,378m <sup>2</sup>		(大字東方1308) 照源寺	松平定勝墓碑、他 計25基
菰野藩	土方家	三重郡菰野町 大字菰野158番地	375m <sup>2</sup>	鉾型墓碑 長方形墓碑 石地蔵	見性寺	西墓地 26基 東墓地 3基
亀山藩	石川家	東京都北区田端町 3丁目21-1			(江戸下谷) 大久寺	
神戸藩	本田家	東京都江東区			靈巖寺	神戸城主一柳直盛の髪塚 鈴鹿市龍光寺
藤堂 久居藩	藤堂家	久居市二ノ町	204m <sup>2</sup>	五輪塔	玉淀寺	藤堂高堅墓碑、他 計2基
津藩	藤堂家	津市寺町5-4	1,120m <sup>2</sup>	五輪塔 鉾型墓碑	寒松院	藤堂高虎墓碑、他 計25基 藤堂家現在神葬のため離檀
鳥羽藩	九鬼家	鳥羽市鳥羽 2丁目12-3	130m <sup>2</sup>	五輪塔	常安寺	九鬼嘉隆墓碑、他 計12基
	内藤家	鳥羽市鳥羽 4丁目4-19	40m <sup>2</sup>	五輪塔 石塔	西念寺	内藤忠勝墓碑、他 計12基
	稲垣家	鳥羽市鳥羽 2丁目12-3	130m <sup>2</sup>	宝篋印塔 石塔	常安寺・光岳寺	稲垣長行墓碑、他 計9基

\* 昭和57年10月21日付の照会に対する関係市町村の回答による。

## 5. 県新指定文化財調査報告

### 一之瀬獅子神楽 度会郡度会町南中村・脇出・和井野・市場

(昭58.2.11調査)

#### ○旧一之瀬村

宮川の支流一之瀬川に沿う山村は、和井野、南中村・脇出・市場・柳・小萩・川上の七集落に分れる。和井野は山麓に位置し、川向うにあるが、ここは「倭姫命世記」に見える旧地である。川上は最も奥地にあるが、そこにやはり倭姫の伝説地乙女岩という巨岩がある。岩上で倭姫命がアマテラスを祀った旧蹟という。また、脇出、市場は南朝方の愛洲氏の平山城があり、護良親王と関りの深い帝釈氏もそこに居住していた。

#### ○氏 神

明治末、市場の氏神八幡社に、他六地区の氏神八柱社を合祀して一之瀬神社と改称した。和井野じりは津島社(牛頭天王)で、他は全部八柱即ち八王子社であった。獅子神楽の起源は不明だが、相当古いことは、常頭屋制であったこと、舞い振りからも伺える。系統としては御頭神事の分派らしい点もあるが、神宮(外宮)と関係の深い御頭神事とは異なる。

#### ○祭 日

現在は建国記念の日の2月11日に固定している。しかし古くは旧正月14、15日の祭であった。それが一か月遅れとなり、三転して現在に及んだ。

#### ○結衆と頭屋

一之瀬は真宗の寺が多いが、比較的大きい寺は南中村の東明院(臨濟)であろう。室町期の宝篋印塔がある。この寺に結衆四軒がかつてはあって、これらの人が中心になって獅子神楽を行ったらしい。はっきりした文献はない。この結衆四軒は、恐らく現行の常頭屋である御村家と思みがかった時の代役(小林、山下、井口)とに照応するであろう。

#### ○神楽の現況

筆者は、度会、宮川村の山村調査の時と今回と二回拝見した。前は南中村を、今回は脇出と南中村を見た。

午後1時頃、まず脇出の公民館(天神跡)の前庭で神楽をあげた。これは宿舞に当る。頭屋制の時代では頭屋の庭で舞ったので宿舞と称した。頭人のことを宿殿と今も敬称している。晴天に恵まれ、村人らも着飾って見ている人が多かった。一之瀬のお頭は古いもの



ホ ッ ク 舞

はもう残っていない。しかし、伝承によると愛洲氏の山城がこの地にあったとき、城の四隅の櫓に四頭のお頭が安置されていたといい、それを各字に分配したことに始まるという。確証はない。舞庭には藁を敷きつめる。東側にガクヤ又はウマヤと称する獅子の座があり、囲いになっている。雌雄のお頭と天狗面とをそこに安置し、守護役をつけて厳重に警護していた。楽座はガクヤとかぎの手状の位置にあり、太鼓1人、笛3人が袴で座る。

### ○三種の舞

最初はホック舞いという。ホックとは口取のことで、二人ある。次は獅子舞、三番目をチイドメという。多分打止めということで、舞い納めをするのである。

ホック舞は口取役が天狗面をかぶり、上に白紙のシデをつける。茶の上衣、ハカマ、白足袋の装束である。左手に扇子、右手に木製の剣を持つ。この剣の柄にはドーマン符☆とセーマン符■を描いて、一切の邪悪を祓除する呪力があるものという。土地では剣のことをアラビウケンソワカと称している。真言の呪文で、あらゆる呪詞にこの呪文がつく。☆は阿部晴明の高弟芦屋道満の紋といい、■は九字で晴明のものという。このドーマン、セーマンは志摩ではいろいろなものに印している。剣型と長刀鉾型と二種ある。舞い振りはゆるやかで荘重古風を保っている。獅子舞もホック舞に似てゆっくり舞う。脇出では頭をかぶる人、胴衣の中に入る人、尾を持つ人と三人舞を演ずる。雌頭に2mもある長いヒゲ様のものをつけているのも異色であろう。南中村の舞の振り方が古調があった。衣裳も古い。チイドメ舞、これはホックが素面で舞うものである。これで神楽は全部終る。そのあとククメモノをする。

### ○ククメモノ

子どもを抱いた母親がお頭にかんでもらうと一生健康で幸福という。獅子の口を大きくあける役が宿殿の任務であった。そこへ子の頭を突っ込み、泣く子もあった。ククメモノは賽銭のことである。

### ○直会の予祝

舞いがすんで、宿殿、村役が筵上で直会をする。

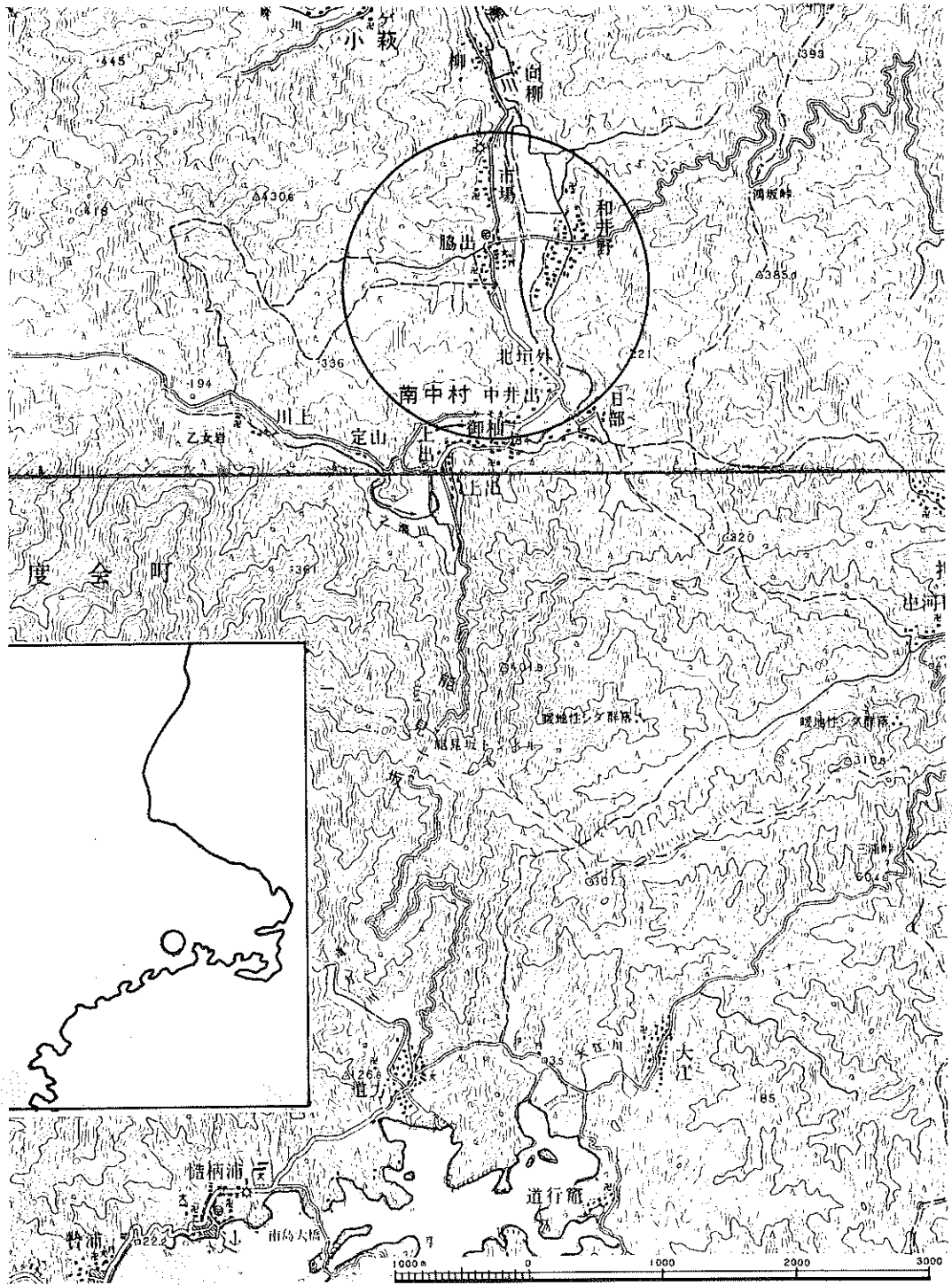
### ●評 価

常屋制という古い形で獅子舞をするのは、三重県では少い。やや崩れた形ながら、その意味で評価できる。直会の強肴は生大根で、輪切りにして供するのも古風だ。膳の上でほうり上げその向きによって豊穰を予祝するのも面白い。

(堀田吉雄)



獅子舞



一之瀬獅子神楽の位置 (5万分の1)



文化財保護事業（表紙 国指定文化財）

（裏 県指定文化財）

大村神社宝殿 (指定文化財管理)	明星寺 (保存施設)
正法寺山荘跡 (環境整備)	専修寺御影堂ほか (防災施設)
新大仏寺木造 如来坐像 (保存修理)	大江寺木造 千手観音坐像 (保存修理)

山神の獅子舞 (伝承公開)	安楽寺木造 薬師如来坐像 (保存修理)
越 賀 ( 保 存 )	舞 台 修 理 )
久保古墳 (保存施設)	勝手神社神事踊 (伝承公開)

# 県内指定文化財

(昭和58.3.31 現在)

区分	国宝	建造物	絵画	彫刻	工芸品	古文書等	考古資料	歴史資料	無形文化財		特別史跡	史跡	天然記念物 特別名勝及び物	名勝	名及び史跡勝跡	史及び名勝跡	天然記念物 名勝及び物	天然記念物別物	天然記念物	天然記念物勝	伝建物の群	計
									有形	無形												
国指定	4	14	17	60	17	32	5	2	3		3	1	27	1	2	1		2	20	1		212
県指定		26	25	66	43	44	8		1	17	30		64		9	2	1		76			412
市町村指定		72	56	125	131	125	24	4	7	46	61		143	6					59		1	860
計	4	112	98	251	191	201	37	6	11	63	94	1	234	1	17	1	2	1	2	155	1	1484

